授業づくり研修講座　実践レポート

相武台東小学校　大下 桂子

単元名　第６学年　「よさを伝える広告」

実践ポイント（工夫）

・身近な物の広告を書く　　（キャッチコピーの効果を知る）

　　　　↓

・身近な人物の紹介文を書く　（表現を工夫することの楽しさを味わう）

　　　　↓

・卒業文集に向けて担任の先生の特徴を捉えた文を書く　（文章を書く意欲が高まる）

実践内容

第１次　教材文の広告や集めた広告について、表現方法のよさについて話し合う。

リズムのよさ、人とは違う視点をもっているよさ、絵、写真の効果、印象に残る言葉や

表現を見つける。

第２次　キャッチコピーを考える。

４クラスの担任の先生を表す言葉、情報

などの材料集めをする。

第３次　キャッチコピーにつながる文章を書く。

読み手に伝わる文の書き方を確認する。

文章の中で使える表現方法を提示する。

第４次　全体を見通して事柄を整理して書く。

第５次　表現の効果について検討する。

友達と広告（担任紹介文）を読み合い、こうしたらもっと効果的に伝わるのではないか、

助言や提案をし合う。

よさを見つけて伝え合う。

キャッチコピー

・見ただけ　聞いただけでイメージできるものにする

・デメリットをメリットに変える

・ワンフレーズで語れるものにする

まほうの言葉・・・

・意外な・・・

・こんな・・・

・ちょっとした・・・

・これをやったら・・・

・ひそかな・・・

・今までに・・・ない

・まさか・・・！？

・

振り返り（成果や課題）

・いかに短い文で、よさを伝えられるかという視点が大きく、論理的に考え、構成するところまでは至らなかった。

・目標を卒業文集し、身近な事を題材にしたので、意欲的に書いている子が多かった。

・表現することの楽しさを感じることができたので、次の単元「説得力のある文章を書くには」につなげていきたい。